

3類型	鋳工業品又は鋳工業品の生産に係る技術	通巻番号	2-23-001
地域資源名	津軽塗	認定日	平成23年9月30日
地域	青森県弘前市	所管省庁	経済産業省

事業名:「津軽塗」伝統の研ぎ出し技術と新たな柄付け技術を活用した、現代のライフスタイルに合うモダンな食器、インテリア製品の商品開発と販路拡大

会社名: 有限会社イシオカ工芸

所在地: 青森県弘前市堅田2丁目7の5

連絡先: TEL: 0172-34-6222

URL: <http://www.tsugarunuri.jp/>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・これまでの取り組みをさらに発展させ、生まれ変わった津軽塗による新たなライフスタイル提案ができる商品の開発、ラインナップの整備(ブランド、ブランドラインの整備)、生産～販売～アフターケアまでのトータルでのシステムを構築する。
- ・オーストリアの老舗クリスタルメーカー「ロブマイヤー」とのコラボレーションによる製品開発を継続しながら、長崎県の波佐見焼に塗りを施す「陶胎漆器」の製作、他社とのコラボレーションによる錫製品とマッチするオリジナル製品の開発に取り組み、大手百貨店やインターネットを活用した販売チャネルを開拓する。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・本事業は当地域の地域産業資源である津軽塗の特徴である研ぎ出し技術を生かして洋食器にも調和するモダンさを付加させた。津軽塗製品の販売に参入している企業のうち、域内においてシルクスクリーン印刷など独自の技術を用いて生産し、尚かつ流通させているのは当社だけである。
- ・当産地の固有の技術である「研ぎ出し」を生かし、「品質(漆素材)」に拘り、「高い耐久性」が現代生活において「使える」商品であり、海外のテーブルウェア製品にはない、ぬくもりや柔らかさを有している。

◆市場性

- ・新たな津軽塗市場の需要は、和洋共生を背景とし、富裕層を中心に、またその志向に憧れを持つ層に需要があると見込まれる。これにより洋のライフスタイルが増加してきている中、従来の津軽塗製品市場を上回る新たな市場を確保することが見込まれる。
- ・輸入陶磁器は低迷しているが、クリスタル・ガラス製品の市場規模は伸びてきており、ガラス製品と共存できる市場に入っていくことで、新たな市場を開拓していく。



研ぎ出して模様を表す

◆販路

- ・本事業で取り組む未来への津軽塗市場の展開を、市場ニーズの確認、ターゲット、コンセプト、ブランド構築、販売、マーケティング方法、目標売上と結び付け、より顧客のニーズに応える体制を整える。
- ・販路開拓として、海外展開は販売チャネルを持っているロブマイヤーと連携し、ターゲットの選定、販売面での協力(協同の営業)を行う。



ロブマイヤーとのコラボレーション

地域資源における関係事業者との連携

- ・関係事業者等との連携により津軽塗の事業成功への認知度アップと青森県弘前市の地域貢献度アップを目指す。